MITSUBISHI

三菱電機コンデンシングユニット

取扱説明書

もくじ

●このたびは三菱電機コンデンシングユニットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
●お客様ご自身では、据付けないでください。
（安全や機能の確保ができません。）

WT02171X04

1．保証とアフターサービス

無償保証期間および範囲

据付けた当日を含め1年間としますが、無償にて支給するのは故障した部品に限ります。
ただし右項に記載する使用方法による故障については、保証期間中であっても有償となります。

保証できない範囲

●天災、火災による事故
●その他、ユニット据付、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での事故は、一切保証できません。
また、ユニット事故に起因した冷却物、営業補償等の2次補償はいたしませんので当社代理店等と相談の上損害保険に加入して対処してください。

保守契約のおすすめ

販売店様又は、サービス会社と保守契約を結び定期的に点検を設けて、コンディションの良い状態で運転させることにより、電力消費量の増加防止及びユニットの寿命低下防止ができます。

万一異常がありましたら、ただちに運転を停止して電源を切り、お買い求めの販売店へご連絡ください。

ご連絡の場合は、つぎの3点をハッキリお示しください。
1.形名（例：コンデンシングユニット：ERA-　）
2.製造番号
（1・2は定格銘板に記載してあります。）
3.故障内容（できるだけくわしく）

2. 安全のために必ず守ること

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
■ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつくもの。

■お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

本文中に使われる"図記号"の意味は次の通りです。

図記号	意味
	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従い、行ってください。
	必ずアース工事を行ってください。
	電源は必ず切ってから行ってください。
	触れたり、指や棒を入れないでください。
	濡れた手で、触れないでください。

⚠ 警告

お客様自身で据付しない。

●据付けは、販売店または専門業者に依頼してください。
ご自身で据え付け工事をされ不備があると水漏れや感電・火災・ケガの原因となります。

D種接地(アース)工事を行う。

●アース工事を行ってください。
アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
アース工事に不備があると、感電の原因になります。

電源コードの中間接続・延長コードの使用・タコ足配線はしない。

●接触不良・絶縁不良・許容電流オーバーなどにより、感電や発熱・火災の原因になります。

屋外や湿気の多い場所では使用しない。

●雨水のかかる場所でご使用されますと、漏電・感電の原因になります。
●湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないでください。発火や感電の原因になります。
(一体空冷式コンデンシングユニットは除く)

コンデンシングユニットを水洗いしない。

●コンデンシングユニットに直接水をかけたりしないでください。ショート・感電の原因になります。

ユニットの近くで火器を使用しない。

●ユニットの近くで火器を使用したり、焚火をしたりしないでください。火災の原因になります。

換気に注意してください。

●屋内や冷蔵庫に据付ける場合は、万一冷媒が漏れて限界濃度を超えると酸欠事故の原因になりますので限界濃度を越えない対策が必要です。限界濃度を超えない対策については、弊社代理店と相談してください。またそのような場所に入室する場合は、換気を十分に確認してください。

電源コードを傷つけたり・引張ったりしない。

●電源コードを傷つけたり、加工したり、引張ったり、たばねたりしないでください。また重いものを載せたり、挟みこんだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

電源プラグのほこりを取除きしっかり差込む。

●電源プラグは、ほこりが付着していないか定期的に点検し、がたのないように刃の根元まで確実に差込んでください。
ほこりが付着したり接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない。

●内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因になります。

お客様自身で移設しない。

●移設は、販売店または専門業者にご相談ください。
据え付け不備があると水漏れや感電・火災等の原因になります。

お客様自身で修理しない。

●販売店または専門業者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。分解・修理・改造に不備があると異常動作によりケガをしたり感電・火災等の原因になります。

異常時は運転を停止して、電源を切る。

●異常時は運転を停止して、元電源を切ってください。
異常のまま運転を続けると感電・火災等の原因になります。

安全装置・保護装置の設定値は変更しない。

●設定値を変えると、ユニットの破裂・発火の原因になります。

⚠ 注意

濡れた手でスイッチや電源プラグ等の電気部品に触れない。

●濡れた手でスイッチや電気部品には、触れないでください。触れますと感電の原因になります。

電源コードを引っぱらない。

●電源プラグを抜くときは、先端のプラグを持って行ってください。コードを引っぱって抜くと、心線の一部が断線して発熱・発火の感電の原因になります。

運転中にプラグの抜差しはしない。

●電源プラグの抜差しによる製品の運転・停止は行わないでください。感電やショートの原因になります。

ユニットの上に乗ったり、ものを載せない。

●落下・転倒によるケガの原因になります。
●機械部にものを載せたり、手を入れたりしないでください。内部でファンが高速回転していますので発熱やけがの原因になります。

可燃性スプレーを近くで使用したり、可燃物を置かない。

●可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないようにしてください。スイッチの火花などで引火し、発火の原因になります。

長時間使用しない時は、電源を切る。

●長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源を切ってください。また電源プラグ式ユニットは、プラグを切ってください。プラグにほこりが溜まって発熱・発火の原因になります。

ユニットの廃棄は専門業者に依頼する。

●ユニット内に油や冷媒を充填した状態で廃棄すると火災・爆発・環境汚染の原因になります。

掃除のときは、必ず運転を停止し、電源を切る。

●掃除をするときや、整備・点検のとき、必ず運転を停止させ、電源を切ってください。感電やファンによるケガの原因になります。

フィンに手を触れない。

●掃除をするときはフィンに直接手を触れないでください。ケガの原因になります。（空冷式の場合）

取扱者以外の人が操作しないように保護する。

●取扱者以外の人が触れないような表示をするか、触れるおそれのあるときは、保護柵などでユニットを囲ってください。誤使用が原因でケガをすることがあります。

配管や配線に触れない。

●露出している配管や配線に触れないでください。火傷や感電の原因になります。

据え付け台などが傷んだ状態で放置しない。

●長期使用で据え付け台などが傷んでいないか定期的に点検してください。傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながりケガの原因になります。

凍結のおそれのある場所へは据付けない。

●凍結のおそれのある場所へは、据付けないでください。周囲温度が0℃以下になったときは、使用を止め、水抜きをしてください。給排水管の破裂から浸水し、周囲を濡らすことがあります。（水冷式の場合）

3．運転前の準備

クランクケースヒータの通電

潤滑油のフォーミング(泡立ち)防止用クランクケースヒータは圧縮機停止時のみ通電します。
半日以上電源停止した後再運転する場合には運転3時間前には、電源投入し、潤滑油を加熱してください。
(クランクケースヒータを組込んでいない機種もあります。)

4．ご使用方法

システム全体のご使用方法は、施工されました販売店様の工事説明にもとづいて行ってください。
ユニット単体のご使用方法は、ユニットに付属しています据付工事説明書にもとづいて行ってください。

5．お手入れのお願い

注意

●お手入れをするときには、必ず運転を停止させ電源を切ってください。ファンによるケガや感電の原因になります。

■キャビネット

●乾いた柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をとかしたぬるま湯か水を柔らかい布に含ませて拭き、その後ぬれた布で洗剤が残らないようによく拭きとってください。

■放熱器(空冷式)

●放熱器が汚れますと熱交換が悪くなり、放熱能力が低下しますので定期的な洗浄が必要です。洗浄の際は、販売店にご相談願います。

■凝縮器(水冷式)

●長くご使用になっていますと水垢などが凝縮器に付着して熱交換が悪くなり冷凍能力が悪くなります。このため、年に一回程度(特に水質の悪い所では数回)凝縮器内の洗浄を行ってください。
洗浄の際は、販売店にご相談願います。

●冬季に長時間運転を中止する場合には、冷却水が凍結して凝縮器がパンクするおそれがありますので、凝縮器・配管及びクーリングタワー内の水を完全に抜き取ってください。方法につきましては販売店にご相談願います。

6．警報装置の設置のおすすめ

警報装置の設置のおすすめ

保護回路が作動して運転が停止したときに信号を出力する端子を設けていますので、警報装置を接続するようお奨めします。施工店(販売店)とご相談ください。万一、運転が停止した場合に処置が早くできます。

様式1　冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）　　年　月　日～　年　月　日

管理番号	

施設所有者				設備製造者				
施設名称		系統名		設置年月日				
施設所在地		電話		使用機器	型式		製品区分	
運転管理責任者		電話			製番		設置方式	現地施工
点検事業者	会社名	責任者			用途		検知装置	
	所在地	電話		冷媒量（kg）	合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数（%）
使用冷媒		初期充填量（kg）		点検周期	基準		実績（月）	

作業年月日	点検理由	充填量（kg）	回収量（kg）	監視･検知手段（最終）	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	ﾁｪｯｸﾘｽﾄNo.	確認者

●JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。
定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。
なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。*JRA:社団法人 日本冷凍空調工業会
・JRA GL-14について、http://www.jraia.or.jp/index.html
・フロン漏えい点検制度について、http://www.jarac.or.jp/roei/

■ご不明な点に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)
0037(80)2229(フリーダイアル)･073(428)-2229(通常FAX)

〒640-8686　和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所

WT02171X04